

保護者様

田村市立瀬川小学校長 星 善樹

## 夏休み前までの教育活動反省結果の報告について

残暑の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

夏休みは、事故無く子どもたちが過ごせましたこと、そして、全員が元気に登校できましたこと、これもひとえに保護者の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

さて、夏休み前に教育活動のアンケートをお願いしましたところ、貴重なご意見をたくさんいただくことができました。児童、教職員についてもアンケートを実施し、意見を集めました。そして、それらをもとに、これまでの教育活動について振り返り、今後、より力を入れて実践することについて話し合いを持ちました。以下、その内容をお知らせいたします。

### 1. アンケート結果からの考察（アンケートから見えてくること）

#### (1) 児童のアンケート結果から

○多くの児童が学校は楽しいと感じており、また、他の人とも仲良く生活していると答えている。

○係や委員会、班長などの仕事を一生懸命行っている児童が多い。

○ハンカチやちり紙をきちんと持ち、うがいや手洗い、特に歯磨きをしっかり行っている児童が多い。

●保護者や教職員のアンケート結果と比べて、全体的に自己評価が低めである。

●授業内容が十分理解できない、また、授業中進んで考えたり、発表したり友達と話し合ったりということが十分できていないと感じている児童が見られる。

●授業中、ノートを丁寧に書いていないと感じている児童が見られる。

●家庭学習について、十分に行っていないと感じている児童が見られる。

●自分の良い点に気づいていない児童が多く見られる。

●家でのお手伝いが十分できていないと感じている児童が見られる。

尚、本年度、船引中学校区で取り組んでいるメディアの適切な使用については、約束を守って使っていると答えた児童は7割。

**※ 児童は、学習面で課題を感じている。(家庭学習を含む)**

#### (2) 保護者のアンケート結果から

○児童は、他の児童と仲良く生活しており、楽しく学校に通っていると感じている。

●お子さんに関する質問に対しては、評価が比較的厳しい。

評価が比較的厳しい事柄は・・・

「家庭学習、田村っ子のルール10、物事への取り組みの積極性、衛生習慣、食生活等」が挙げられる。）

尚、本年度、船引中学校区で取り組んでいるメディアの適切な使用については、約束を守って使っているという回答は7割。

**※ 保護者は、家庭学習、田村っ子のルール10、衛生習慣、食生活等に課題を感じている。また、何事も積極的に取り組む事を臨んでいる。**

#### (3) 教職員のアンケート結果から

○多くの児童は、喜んで学校に通い、いきいきと学校生活を送っていると感じている。

●児童同士が互いのよさを認め合い、仲良く、思いやりを持って生活できるようさらに一人一人に目を向け指導をしていかなければならないと感じている。

●児童の体力や運動能力の向上を目指した指導に力を入れていかなければならないと感じている。

尚、本年度、船引中学校区で取り組んでいるメディアの適切な使用については、児童は約束を守って使っているという回答は7割。

**※ 教職員は、児童のよりよい人間関係の構築のための指導や体力向上のための指導に力を入れていかなければならないと感じている。**

## 2. 今後、より力を入れて取り組んで行く内容

以上のような結果を受けて、今後、以下の事に留意しながら、本年度の計画に従って実践を進めていきたいと思います。

### (1) 学力の向上のため

- ① 授業の充実にさらに力を注ぐ。
  - ・少人数のよさを生かし、一人一人の理解の度合いをしっかりと見取り、個に応じた指導を徹底し基礎基本が確実に身に付くよう指導していく。(授業中の机間指導の強化、朝の学習の時間等を活用した個別指導の強化)
  - ・児童の興味・関心を高める授業を工夫する。(やってみたい!おもしろい!)
  - ・その時間の「めあて」とそれに対する「まとめ」を大切に授業を行う。
  - ・児童が考え、判断し、表現する時間を十分確保する。
  - ・授業の中で児童が活動する時間を十分確保する。
  - ・学習内容の定着の時間をもうける。
- ② 家庭学習の仕方(内容や方法等)を具体的に指導すると共に、個に応じた指導に力をいれていく。  
※家庭学習反省カードについては、今後ともご協力をお願いします。

### (2) 自己有用感の育成のために

- ① 「田村っ子のルール10」については、写真を活用するなどして、児童にイメージをしっかりとつかませる工夫をする。(ex 履き物をそろえよう!履き物が揃った状態とは?→写真でイメージをしっかりとつかませる。)
- ② 「田村っ子のルール10」に関する自己評価を学年に応じて、毎週実施していく。
- ③ 児童のよさを積極的に賞賛していく。(授業の中で、生活の中で)児童同士が、互いの良い点を認め合えるような環境を作る。
- ④ 様々な活動を通して、所属意識を高めるとともに、集団の一員としてしっかり役割が果たせるよう指導していく。(児童に役割を持たせ、しっかり果たせるようにしていく。→自信、他の役に立っているという意識を育てる。)
- ⑤ 児童一人一人の悩みや困り事に積極的に耳を傾け、早期解決に向け組織的に指導にあたる。

### (3) 体力・運動能力の向上のために

- ① 朝のマラソンに積極的に取り組ませる。  
(走りたくなる環境づくり マラソンカードの活用、教職員の積極的な声かけ、校内持久走大会に向けた業間マラソン等の活用)
- ② 外遊びの奨励。(運動できる環境づくり、遊具等の積極的な活用を目指した環境づくり)
- ③ 運動身体づくりプログラム(県教育委員会作成の運動プログラム)を継続して体育の時間に行うようにする。(マナー化を防ぐための工夫をしながら・・・)
- ④ 運動の自己記録を知ること目標を持って運動に取り組めるようにする。(自己記録の累積)
- ⑤ 個別指導に力を入れ、う歯治療完了100パーセント、肥満傾向の改善を図る。
- ⑥ 衛生習慣の育成、食生活についても児童の委員会活動を通したり、給食指導を通したりしてさらに良い状態となるよう努力していく。
- ⑦ メディアチャレンジシートの確実な活用により上手にメディアと付き合う生活のリズム作りの指導に力を入れていく。

以上のようなことを意識しながら、今後の教育活動をより充実したものとしていきたいと考えております。今後とも、保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

また、学校からはこれまで同様、子どもたちの活動の様子をホームページ、学校・学級だより、メール等の方法で積極的に情報発信して参ります。

保護者の皆様も、ご家庭での児童の様子、学校へご意見、ご要望、励ましなどその都度お寄せいただければ幸いです。

(事務担当：校長 星 善樹 84-2218)